

公共空間活用の取組

- 近畿地方の都道府県庁所在地の市における公共空間の活用事例について、収益構造の仕組みに着目して調査を実施

市	活用主体	活用エリア	活用スキーム	活用事例における主な特徴
神戸市	三宮中央通りまちづくり協議会	三宮中央通り	ほこみち制度	制度を活用した「multi-BASE」の設置と活用 等
和歌山市	紀州まちづくりグループ	本町公園	Park-PFI制度	既存建築物を改装し飲食店等に賃貸、最大5千人が訪れるイベントの実施 等
大阪市	大阪梅田エリアマネジメント	JR大阪駅周辺	地域再生エリアマネジメント負担金制度	地域再生エリアマネジメント負担金制度を活用した健康増進イベントの実施 等

各事例の特徴

① 固定的な活動資金の確保

- 「multi-BASE」の利用料（神戸市）、不動産賃貸収入等及び公園の地下駐車場の料金収入（和歌山市）、地域再生エリアマネジメント負担金（大阪市）

② 固定的な活動資金以外の資金調達手段も確保

- 自治体からの補助金や民間企業からの協賛金（神戸市）、公園内イベントの利用料及びイベント参加者の駐車場利用収入（和歌山市）

③ 行政との関係性の維持

④ 交流人口・関係人口の増加

- クラウドファンディング、メディアの活用（神戸市）、周辺地域のイベントとの同時開催（和歌山市）
- 来訪者等の交流人口のみならず、地域に関心や関係を持つ関係人口も増加することで、更なる利活用等に結びつき、地域の経済的な効果の増加が見込める可能性がある。



写真1 三宮中央通り multi-BASE



写真2 本町公園 本町プランテ